

科目名称	インダストリアルデザイン計画			授業コード	20031351
担当教員	見明 暢				
単位数	2.0	授業形態	講義	科目分類	選択
年次	2	開講年度	2019	開講学期	後期
関連資格	教職				
履修制限等					
到達目標(目的含む)	プロダクトデザインを実践するための指標となる知識を習得してもらいたい。				
授業の概要	インダストリアルデザインには商品の具体性が不可欠であることから、実践的内容が求められる。自身のインダストリアルデザイナーとしての実務経験をもとに、企業の製品開発において必要な各段階においてそれらがどのような手法/手順を踏んで行われているのかを解説する。プロダクトデザインを実践するためデザインプロセスを理解し、説明できる能力を身につけることができるよう、デザインの現場からの視点を特に大切にした指導を行う。 講義においては、実例を交えた解説とそれに基づく簡単な実践課題を行う。				
授業計画	<p>各授業のはじめに15分～20分程度『デザイントーク』として、旬のデザイン情報を取り上げ、解説をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1: ガイダンス</li> <li>2: プロダクトデザインの定義/歴史</li> <li>3: インダストリアルデザインの手順</li> <li>4: 調査手法①[手法の紹介]</li> <li>5: 調査分析②[クロスマップ体験]</li> <li>6: アイデア展開法①[プレーンストーミング]</li> <li>7: アイデア展開法②[チェックリスト法]</li> <li>8: アイデア展開法③[手軽に実践できるアイデア展開法]</li> <li>9: 知的財産権について①[実例Q&amp;A]</li> <li>10: 知的財産権について②[デザイナーが知っておくべき権利について]</li> <li>11: 企画を立案する①[文書型の企画書の書き方]</li> <li>12: 企画を立案する②[図表型の企画書の作成方法]</li> <li>13: 企画を立案する③[ミニワークショップ]</li> <li>14: マーケティング手法の解説/レポート課題の説明</li> <li>15: まとめ・レポート課題説明</li> </ol>				
授業時間外学習	講義終了時に毎回参考図書を紹介する。				
評価方法	各講義のテーマの区切りに出題するミニレポート課題と、最終回に出題するレポート課題の合計点数を評価基準として用いる。				
課題・試験に対するフィードバックの方法					
使用テキスト	授業に必要な道具は適時指示する。				
参考テキスト・URL					
各自準備物					
実習費					
その他	出席が10回に満たない場合はE評価とする。				